親子クイズ 534

Q 建君が英語で自己紹介の文を書きました。□に1字入れて、完成させてください。□の番号の字を枠の中に入れるとできる英文は?

「2020年のオリンピック、パラリンピックには!!」

ぼくの名前は健です。　M 4 nam 2 is Ken.

ぼくは10才です。　I am te 8 years 5 ld.

ぼくは十市小学校に通っています。　I g 10 t 13 9(大文字) ochi El 3 mentary 1(大文字) chool.

ぼくの誕生日は６月１日です。　My birthda 12 is J 6 ne 1 st.

ぼくは南国市に住んでいます。　I l 7 ve in Nan 11 oku city.

1	2	3

4	5	6

7	8

9	10	11	12	13

.

【第533回解答】

神無月

【第533回当選者】

北村　安子　（立　田）
野村　律子　（岡豊町）
竹村　節代　（香美市）
今西　穂乃花　（大埇甲）
黒上　悦子　（緑ヶ丘）

■応募締切／11月11日㈮必着
■あ て 先／〒783－8501
南国市大埇甲２３０１
南国市企画課「親子クイズ係」
＊はがきで応募
■賞　　品／正解者の中から抽選で、５名に図書カード（1,000円）を贈呈

★応募総数／115通　★正 解 率／95％

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

こころ ふれあい つながって 68 人権学習シリーズ

「より良い社会へ」

先日、愛犬の散歩中何気なく道路脇の水路に目を向けると、一枚の葉っぱがすいすいと気持ちよさそうに流れているのを見かけました。視線を先にやると、水路が二手に分かれていたので、「葉っぱが左方向へ流れたらもう少し散歩しよう、でも右方向へ流れたらそのまま家に帰ろう」と思い、葉っぱの行方を見ていました。

すると、その葉っぱは流れる方向を決めかねているかのように水路の分かれ際の箇所で留まってしまい、どちらの方向に流れるのか分からなくなってしまいました。

「どうしよう、どちらにも流れて行かないならもう少し散歩しようか」と思ったとき、留まっていた葉っぱが後から流れてきた小枝に後押しされるように右方向へ流れて行きました。

さて、今回の一連の状況を人間関係にあてはめてみました。将来に不安を感じてこの先どうしようか、どの道に進もうかと悩むことは誰にでもあることと思います。

そんな時、仲間や周囲の人たちが気軽に相談に乗ってくれたり、より良い方向に進めるよう助言してくれたりすることで、次の一歩をふみ出せることもあります。その一歩のおかげで、その人だけでなく周りの人たちにも良い影響を与えることもあるのではと思います。

困っている人がいれば、協力し、支えてくれる人が周りにいる。そのような環境であれば、人間同士温かなつながりが生まれ、より良い社会になっていくのではないでしょうか。

＊このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

にこにこライフ 195

年賀状は550枚

植田　鈴子さん
（滝本）

野菜づくりをしています。家庭菜園は我が家の自給率を高めようと思い、始めました。無農薬で安全・新鮮でとても良いです。作っているものは多種にわたり、ナス、ネギ、サツマイモ、大根など作っています。

岡豊小学校の出身で私立の学校へ進学しました。高知市に住んでいた時もありましたが、戻ってきました。今は滝本で体操を行っており、２年前からはモーニングサロンも始めました。サロンは６人で準備しており、朝食を食べて談話するだけですが、毎回40人程度の参加があります。サロンでは体操などをしないことをモットーにしています。滝本の方のみ参加できる夏祭りも行っており、去年は120名の参加、今年は140名の参加があり大盛況でした。

洋画家で建築家でもある中西繁さんが２００９年に松山で展覧会をしたときに、感動し、是非高知でもやってほしいと思い働きかけ、２０１１年に高知で展覧会を開催していただきました。また、世界的なガラス彫刻家・武政健夫さんのファンでもあります。ジャズや写真関係の方とも友好があり、文化について幅広く関心を深めています。

これからは、今やっている事をどれだけやり続けられるかに挑戦したいです。とりあえず10年は続けたいと思っています。そのために健康を大事にしたいです。

すべての協働の中で自分の生活があります。ひとりではなにもできませんし、そういう生き方をしたいと思っています。なので友達を多く作っており、年賀状は550枚も書いています。

様々な分野に幅広くご活躍されており、話題が尽きることがなかったです。お忙しい中、貴重な時間を頂きました。

なんこく歴史散歩 第47回

－瀬戸の滝と黒滝の大杉 －

桑ノ川の鳥居杉の手前の分かれ道を、左に約２㎞入った谷に瀬戸の滝があります。高さ30ｍの落差をもつ名瀑です。この瀬戸の滝は、雨乞いにご利益があると言われています。一斗樽の酒を滝つぼに投げ込んで雨乞い祈願をすると、願いが聞き届けられた際には、空になった樽が浮かび上がってくるという言い伝えがあります。

瀬戸の滝（桑ノ川）

周辺の中山間地域には大豊町の「杉の大スギ」を始めとして、昔から広く知られた杉の巨樹・古木が少なくありません。それを裏付けるように、黒滝の新田神社に合祀されている安之谷の山祇神社には、以前、四国一ともされた大杉があったそうです。明治初年に伐採されたときの記憶を伝える住民の話では、倒れるときの風圧は、２㎞上流の黒滝地区の人家まで及び、倒れた幹は対岸に橋とかかり、多くの人が木綿針で年輪を数えましたが、数えきることができない巨木だったと語り伝えられています。

黒滝の新田神社境内には、樹高約35ｍ、周囲約8.5ｍ、樹齢は500年と推定される大杉があり、市の天然記念物に指定されています。新田神社は四百年以上前、すでに長宗我部地検帳に記載されており、この大杉もその頃から樹勢を誇っていたものでしょう。

昭和10年代の落雷により、幹の先が焼け落ち、一部白骨化していますが、それを包み込むように回りから表皮が覆っています。樹勢は今もきわめて旺盛で、雄大な自然を見下ろしています。

このように、南国市北部は古くから四国山地の豊かな自然に恵まれ、平野部も含めて、人々は多くの恩恵を受けてきました。

黒滝の大杉（黒滝）

■問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎880・6569